

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、フロートボルト交換工事（内海フィッシャリーナ）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」、「国土交通省港湾局港湾請負工事積算基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、関係者に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち関係者には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ関係者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：福山海上保安署
- ・協議内容：漁港内及び海域での工事施行について（港内作業許可申請）

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 熱中症対策

・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。

3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。

4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。

5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。

6 積算方法は次のとおりとする。

（1）補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（％）＝真夏日率×1.2

（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。

7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。

8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第3章 その他

第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、福山市週休2日適用工事の実施について対象外とします。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	M 公共(港湾)		
	当世代	前世代	
工種 I C T補正区分 施工地域・工事場所区分 港湾輸送補正区分 復興係数区分 週休補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	19 港湾構造物工事 00 補正なし 14 地方港湾（3）・影響なし 00 海上輸送補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
栈橋・係船杭					Y1M05 レベル1
	1	式			
雑工					Y1M0509 レベル2
	1	式			
その他雑工					Y1M050903 レベル3
	1	式			
大フロート ボルト交換工					V0003 00
	26	箇所			単第0 -0001 表
小フロート ボルト交換工					V0004 00
	31	箇所			単第0 -0003 表
デルタフレーム連結ボルト交換工					V0005 00
	1	箇所			単第0 -0004 表
※※直接工事費※※					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0003

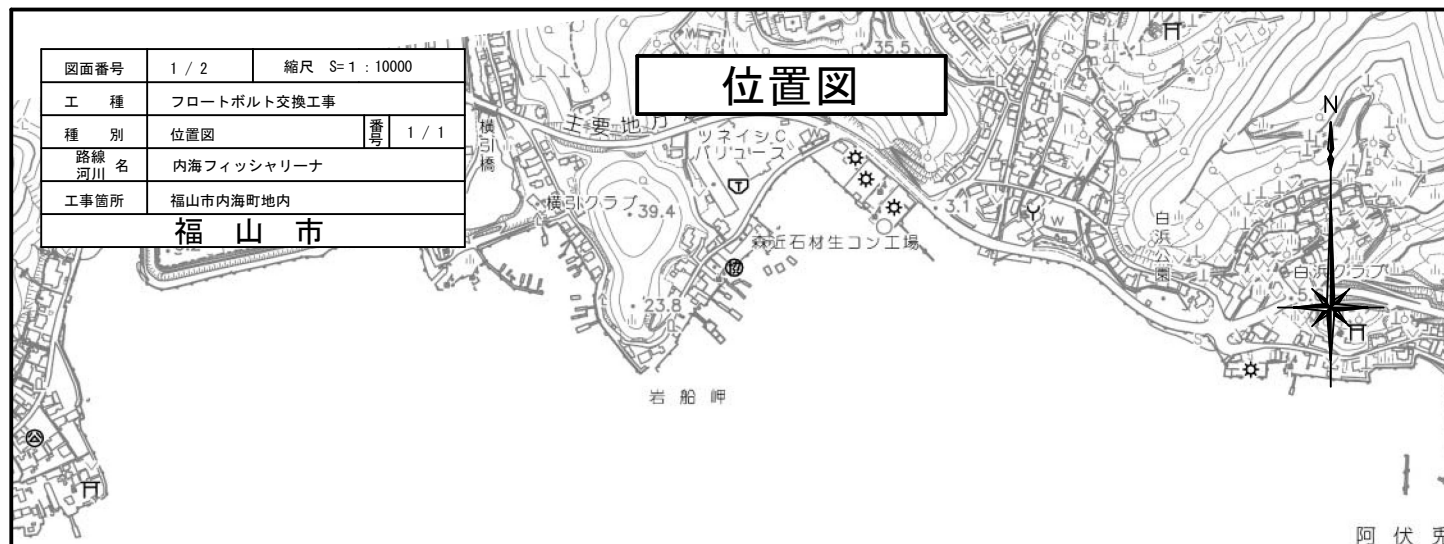
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率……………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率……………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					

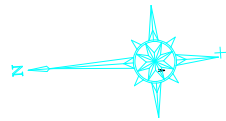
本工事費 内訳表

頁0 -0004

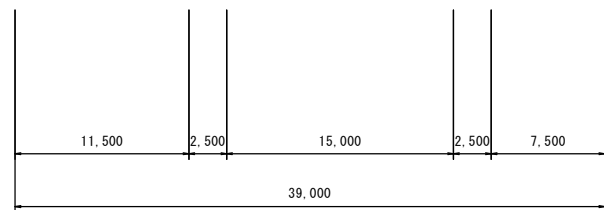
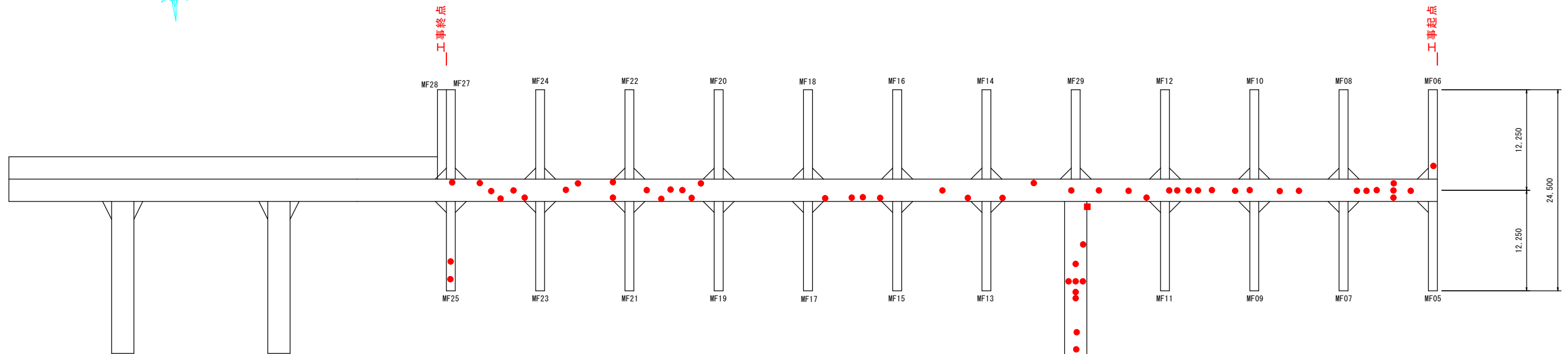
[illegible]

位置図



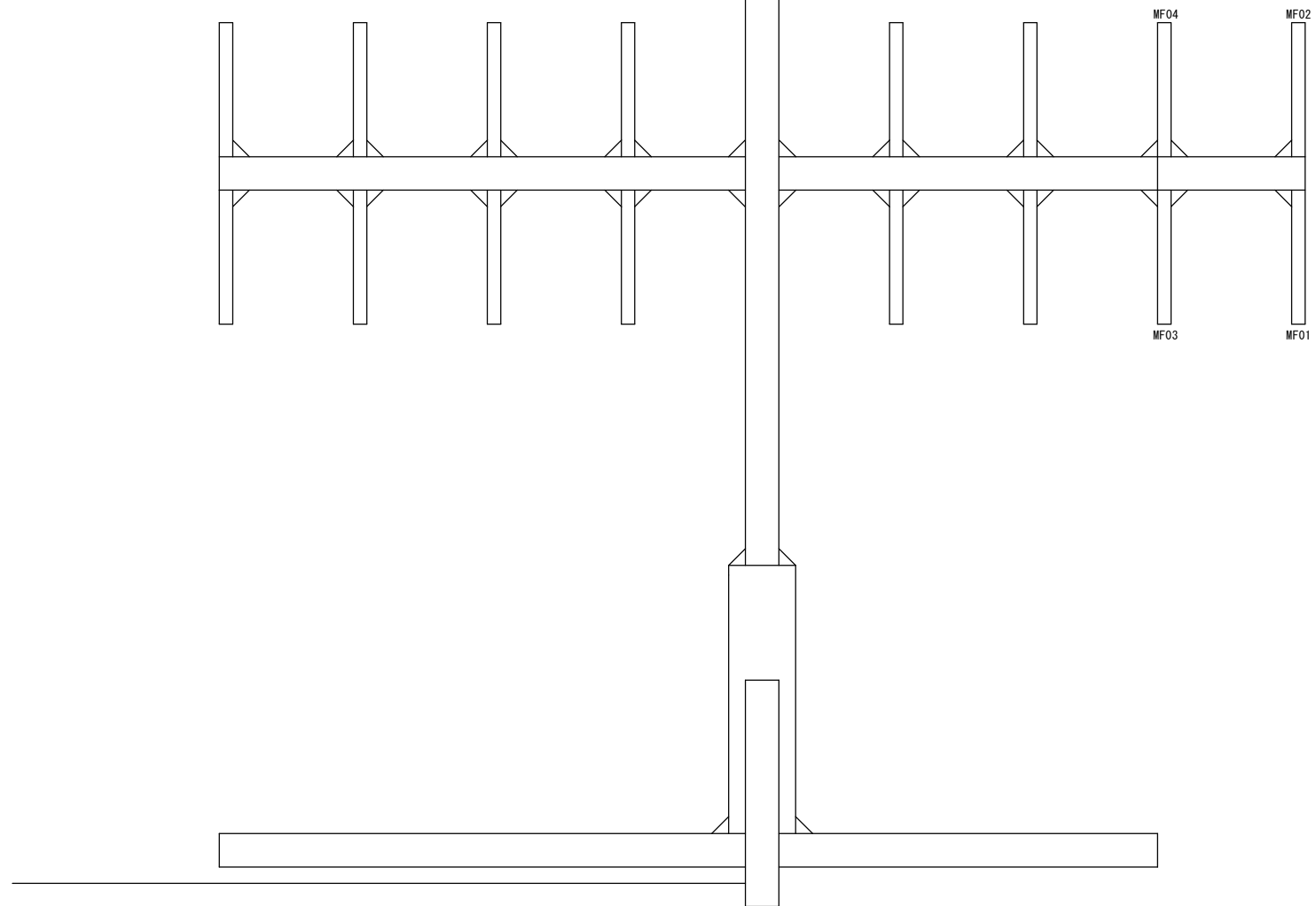
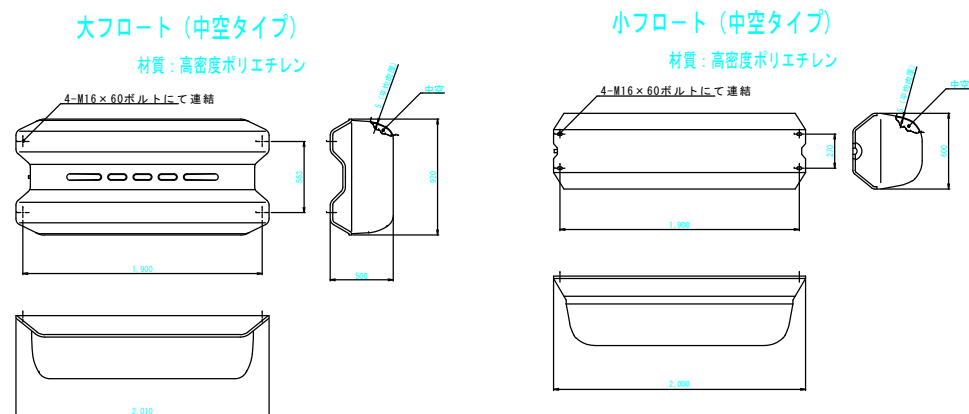


平面図 S=1:250



- : フロートボルト要交換箇所
大フロート : 26箇所 (ボルト2本/箇所)
小フロート : 31箇所 (ボルト4本/箇所)
- : デルタフレーム連結ボルト要交換箇所
1箇所 (ボルト1本/箇所)

詳細図 S=1:30



※本図面はA1版をA3版に縮小している※

年 度	2025 年度	図面番号	2 / 2
工 事 名	フロートボルト交換工事 (内海フィッシャリーナ)		
図 面 名 称	平面図		
縮 尺	図 示		
	福 山 市		

参考資料

施工単価表

頁0 -0005

大フロート ボルト交換工

V0003

單第0 -0001 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

ボルト交換工

V0001

単第0 -0002 表

頁0 -0006

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	1	人			
潜水士(ダイバー) 潜水深度10m未満	3	人			
土木一般世話役	1	人			
ステンレス六角ボルト SUS304,M16×60	22	本			
ステンレス六角ナット SUS304,M16	22	個			
ステンレス座金 SUS304,M16,角	22	枚			
ステンレス座金 SUS304,M16,スプリング	22	枚			
ステンレス座金 SUS304,M16,平	22	枚			
*** 合計 ***	22	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

頁0 -0007

小フロート ボルト交換工

V0004

單第0 -0003 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

デルタフレーム連結ボルト交換工

V0005

單第0 -0004 表

箇所 当り

[illegible]